

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30. 6. 8 第 196 回国会第 26 号

6 月 8 日（金）、第 26 回の委員会が開かれました。

1 特定複合観光施設区域整備法案（内閣提出第 64 号）

・石井国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

遠山清彦君（公明）

- ・第 231 条では、カジノ事業者が納める国庫納付金について、文化芸術の振興に関する施策にも充てることとしているが、具体的にはどのように活用していこうと考えているか、石井国務大臣に伺いたい。
- ・本法案を契機として、既存の公営ギャンブル等による依存症患者を減らしていくことが可能であると考えているが、石井国務大臣の見解を伺いたい。
- ・アジアにおいてカジノは飽和状態であり、後発となる日本のカジノは事業として成功しないとの批判もあるが、石井国務大臣の見解を伺いたい。

福田昭夫君（立憲）

- ・日本に I R ができたら行きたいか、I R のどの施設に行きたいか及びカジノでいくら使いたいかを項目にした訪日外国人旅行者の意向調査結果について、石井国務大臣の所見を伺いたい。
- ・近年、訪日外国人観光客が順調に増加している中で、カジノを設置する必要があるのか、石井国務大臣の認識を伺いたい。
- ・カジノ設置による地域振興や雇用創出の効果をあえて試算しない理由について、石井国務大臣の見解を伺いたい。

源馬謙太郎君（国民）

- ・カジノ事業者が貸金業務を行うことができる条項が設けられた背景について、政府の見解を伺いたい。
- ・カジノ事業者が貸金業務を営むことができるようにしてもらいたいという需要はあったのか、政府の見解を伺いたい。
- ・カジノ事業者による貸金業務に対してはマックスベットや総量規制をかける必要があると考えているが、石井国務大臣の所見を伺いたい。

もとむら賢太郎君（無会）

- ・I R にカジノ施設が必要な理由について、石井国務大臣に伺いたい。
- ・本法案に対する国民の理解は深まっていると考えているか、また、カジノ施設への来訪客には日本人が多いという予測についてどう考えるか、それぞれ石井国務大臣の見解を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・本法案に I R 推進の行政機関とカジノ管理委員会事務局の間に互いの配置転換を認めない、いわゆるノーリターンルールに関する規定を定めない理由について、石井国務大臣及び政府参考人に伺いたい。
- ・カジノ管理委員会事務局の職員としてカジノ事業者の人材を登用することの有無について石井国務大臣に伺いたい。

浦野靖人君（維新）

- ・国際的な競争力を有する I R を実現するためにも、政府において共同で事業を進めることとなる地方自治体及び事業者の意見を十分に聞くべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・日本に寄港するクルーズ船の滞在期間を延ばすために、日本の領海内においても船内でカジノができるようにすることを検討すべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。

玉城デニー君（自由）

- ・本法案に対する審査は十分であるかどうか、石井国務大臣の認識を伺いたい。